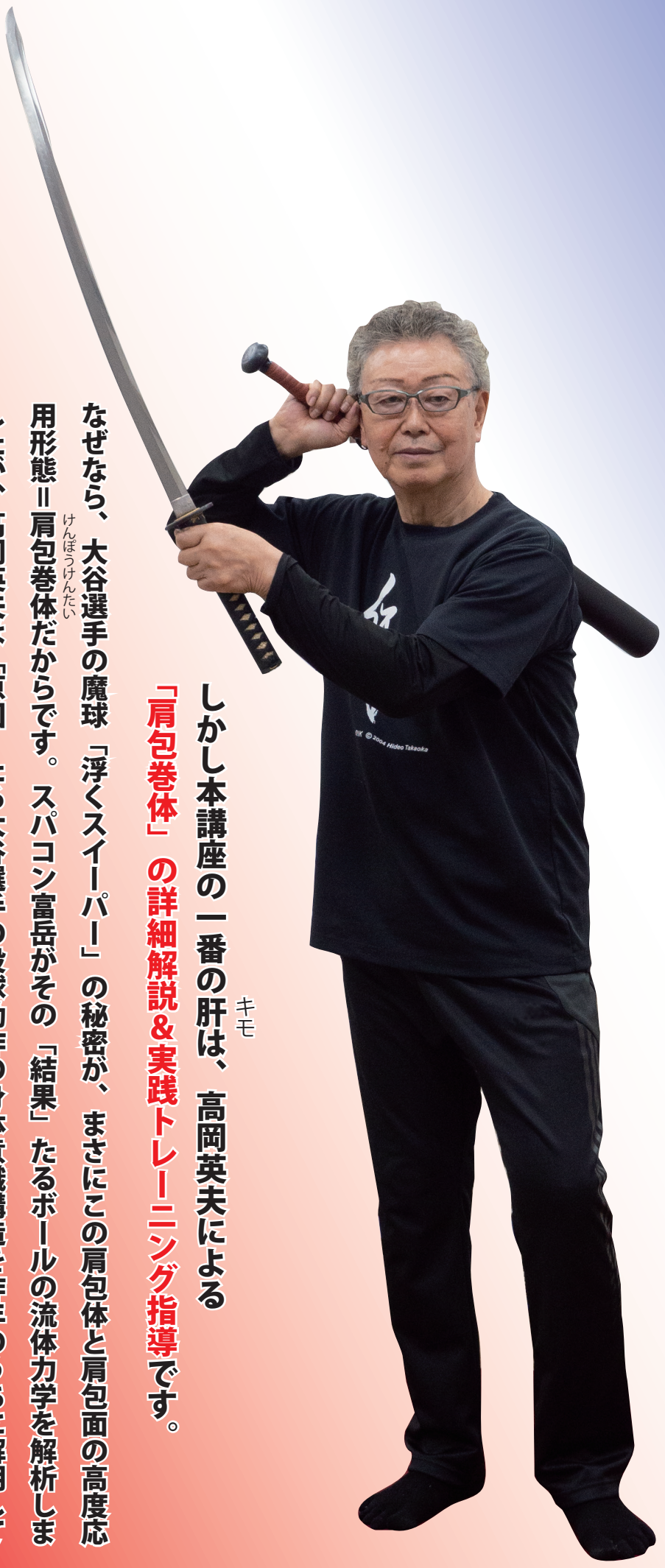
大谷投打法のメカニズムⅡ 初級

「Ⅰ」の大好評を受け、二〇二三年冬期集中講座で開催決定

バットになく日本刀にはあるもの、それが刃筋。日本刀での実演により大谷選手の「ダウンアッパースイング」がホームラン打法としての原則にかなった、いかに優れたものであるかが良く分かる。それが「大谷投打法のメカニズムⅡ」です。



しかし本講座の一番の肝（キモ）は、高岡英夫による「肩包巻体」の詳細解説＆実践トレーニング指導です。

なぜなら、大谷選手の魔球「浮くスイーパー」の秘密が、まさにこの肩包体と肩包面の高度応用形態＝肩包巻体（けんぽうけんたい）だからです。スパコン富岳がその「結果」たるボールの流体力学を解析しましたが、高岡英夫は「原因」たる大谷選手の投球動作の身体意識構造を昨年のうちに解明していました！高度運動科学によるトップアスリートの解説・実技指導をお楽しみください!!